

心や環境面のケアを必要とする子どもたちのための人員の増員に関する請願

1 趣 旨

コロナ禍の中、不登校の子どもたちや虐待の疑いのある子どもたち、自分で命を絶つ子どもたちの数は増加しており、子どもの貧困やヤングケアラーなど、問題も多様化・複雑化している。そのような、深刻な状況に置かれた子どもたちの背景には、心の問題だけでなく家庭や生活環境も深く関わっている。

複雑に絡み合う子どもたちの問題の解決を、学校の教員のみで目指すことは容易ではない。子どもたちの心や環境面の改善に向けて、教師や家庭と連携しながら必要な支援機関につなげる等、適切に働きかけることのできる専門家の存在が重要である。現在学校には、心理や福祉の専門家であるスクールカウンセラー（以下SC）とスクールソーシャルワーカー（以下SSW）が配置されている。しかし、その配置数は、増加している相談件数の数に見合った数とは言えない。

- ・ SC・・・2020年度 相談件数37,017件（前年度比4,355件増）に対し、
2021年度 配置数90人（前年度比3人減）
- ・ SSW・・・2020年度 相談件数823件（前年度比309件増）に対し、
2021年度 配置数27人（前年度と変わらず）

心や環境面に問題を抱えるすべての子どもたちが、安心して学校生活や家庭生活を送ることができるよう、心や福祉の専門家であるSCとSSWを増員し、子どもたちや保護者の悩みをじっくり聞いたり、必要な支援へつなげたりすることのできる機会や時間を保障することが必要である。

そこで、下記のとおりによりに請願する。

記

心や環境面等に深刻な問題を抱える子どもたちに対して、心のケアを担う「スクールカウンセラー」と福祉面の環境をサポートする「スクールソーシャルワーカー」を増員すること。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合 会長 勝見義治

3 紹 介 議 員

西畑知佐代、佐藤正雄、細川かをり

4 受 理 年 月 日

令和3年11月11日